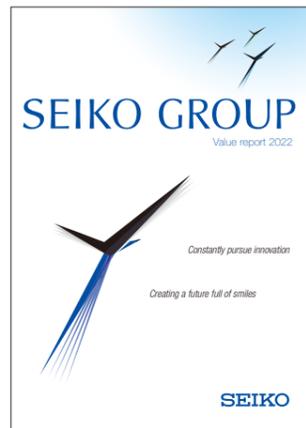


セイコーホールディングスから セイコーグループへ



2022年10月1日付で、「セイコーグループ株式会社」に社名変更いたしました。

セイコーグループは、グループパーパスを原点に、感動を生み出すソリューションカンパニーとして、各事業がシナジー効果を発揮して新たな価値を創出するサステナブルなグループを目指してまいります。



表紙に込めた思い

2022年度、当社グループは新中期経営計画「SMILE145 = SEIKO Milestone 145」のスタートとともに社名変更を行いました。この新しい始まりの年にあたり、統合報告書の表紙のデザインも一新いたしました。SMILE145は3つの事業戦略ドメインで新たな価値創出を実現し、ソリューションカンパニーとなることを目指しています。新しい表紙では時計の針を鳥に見立て、グループパーパスの「革新へのあくなき挑戦(Constantly pursue innovation)」によって「笑顔であふれる未来を創る(Creating a future full of smiles)」という強い思いで、3つの事業戦略ドメインとセイコーグループがともに1つの目指す姿に向けて飛び立つ姿を4羽の鳥の姿で表現しています。



SEIKO GROUP PURPOSE

革新へのあくなき挑戦で、
人々と社会に信頼と感動をもたらし、
世界中が笑顔であふれる未来を創ります。



企業理念

社会に信頼される
会社であること



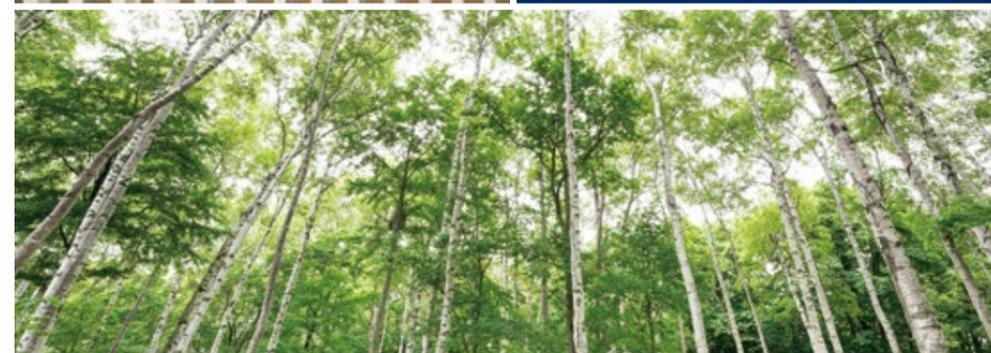
グループスローガン

時代とハートを動かす
SEIKO



グループ10年ビジョン

アナログとデジタルのシナジーにより
世界中の人・モノ・時をつなぐ製品・サービスを創造し、
サステナブルな社会に貢献するソリューションを提供する。



Contents

Introduction	
パーパス・企業理念・グループ10年ビジョン	1

創業以来、常に社会に役立つため、より良い未来を実現するために革新と挑戦を続けてきました。すべての活動はパーパスを原点として企業理念のもと行われています。

What we are	
セイコーグループとは	
グループの変遷	4
グローバル展開	6
セイコーグループが生み出す社会価値	8
CEOメッセージ	10

141年の歴史の中で培ってきた強みと提供する社会価値を紹介しています。

Value creation story	
価値創造ストーリー	
価値創造ストーリー	16
第8次中期経営計画「SMILE145」	18
社長インタビュー	20

創業150周年に至るまでのロードマップと価値創造戦略の全体像を解説しています。

Strategic value creation	
グループ共通コア戦略	
SDGs戦略	26
人材戦略	30
DX戦略	32
R&D戦略	34
ブランディング戦略	36
4つの事業機会	38
3つの戦略ドメイン	
エモーショナルバリューソリューション(EVS)ドメイン	40
デバイスソリューション(DS)ドメイン	46
システムソリューション(SS)ドメイン	48
財務戦略	
CFOメッセージ	50
セイコーグループの品質	52
コーポレートガバナンス	
コーポレートガバナンス	54
社外取締役インタビュー	62
リスクマネジメント	64
企業倫理・コンプライアンス	66
IR活動	67

社会とグループの成長のために、全事業で取り組む5つのグループコア戦略を解説しています。

事業環境の分析から特定した4つの事業機会を解説しています。

事業を推進する3つのドメインの主な戦略を解説しています。

SMILE145の財務的側面からの考え方とSMILE145を実現するための財務部門の役割について解説しています。

価値創造を支え、企業価値向上を実現する土台となるコーポレートガバナンスの状況を紹介します。

グループリスクマネジメントおよび重要リスクへの取り組みについて解説しています。

Data section	
財務・非財務ハイライト	68
10か年財務サマリー	70
財務諸表	72
セグメント情報	76
四半期別(セグメント別)	77
会社概要/株式の状況	78



編集方針

発行4年目となる2022年度の統合報告書は、グループ10年ビジョンからバックキャストで策定した新中期経営計画「SMILE145」を中心に、5年後のありたい姿に向けたロードマップとKPIを示し、当社グループの持続的な価値創造をわかりやすくお伝えしています。また、SMILE145で掲げている各戦略を通して、当社グループの持続的な成長と社会課題解決に対する具体的な取り組みもご紹介しています。

報告対象範囲

セイコーグループ株式会社および子会社、関連会社を含めたセイコーグループ

対象期間

2021年4月1日～2022年3月31日
(一部に2022年4月以降の活動内容等を含みます。)

参照ガイドライン

国際統合報告評議会(IIRC)
「国際統合報告フレームワーク」
経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」



将来見通しに係る注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本報告書に掲載しきれない財務情報やコーポレートガバナンス情報については、当社ウェブサイトにより詳細な情報がご提供しますのでご覧ください。

<https://www.seiko.co.jp>